

SPOT DICTATION と その効果

Spot Dictation and its Effectiveness

キーワード：クローズ・テスト、スキミング、有意差

内藤 徹

Toru Naito

1. はじめに

DICTATION は優れた TEACHING DEVICE であり、また優れた TESTING DEVICE でもあると言われている。DICTATION には様々な形態のものがあるが、その中でも、CLOZE FORMAT を用いた SPOT DICTATION は実用性において最も優れていると言えよう。さらに、この種の DICTATION は部分だけにとらわれず、全体を聞きながらブランクを埋めなければならないので、大意把握という面からも効果があると思われる。

今回、学習者に、この SPOT DICTATION を用いて訓練を行った。これがどのような効果があるかを、データを分析することによって明らかにしたい。

2. 先行文献研究

DICTATION の定義は Sutherland(1972)によれば "the transference, by a second person, of primary auditory language symbols (speech) into a secondary graphic ones (writing)" ということになる。そして、DICTATION は TEACHING DEVICE とも TESTING DEVICE とも考えられる。

Cartledge(1968) は TESTING DEVICE、Rivers and Temperley(1978)は TEACHING DEVICE としての立場をとっているが、この小論の中では、主に TEACHING DEVICE としての効果について述べたい。

DICTATION は大きく分けて SPOT DICTATION と COMPLETE DICTATION の2つの形態が考えられる。Allen and Valette(1972)は SPOT DICTATION と FULL DICTATION、Howatt and Dakin(1974)は SPECIFIC DICTATION と GENERAL DICTATION と言う用語を用いて区別している。SPOT DICTATION とは、ある特定の部分だけを書き取る方法で Paulston and Bruder(1978)は、次の例をあげている。

The local football team is in first place. They (have beaten) every other team in their league and now they (are leading) in the race for the trophy. The team star (has given) a warning to the opposing team: "We ('re giving) you one chance to score, but after that we ('re eating) you alive.

また、ブランクを一定間隔にする MTH FORMAT を用いると、CLOZE 式の SPOT DICTATION となる。この小論の中では、この形態の DICTATION の効果について述べる。一方、COMPLETE DICTATION は、発話されるものをすべて書き取る形態である。日本では、この DICTATION が一般的によく知られている。

DICTATION の手順として、Finocchiaro and Bonomo(1973)は、7つの段階を示しているが、それら

を参考にして、筆者なりにまとめれば次のようになろう。

- 1) 1回目、普通で読まれたものを聞く。
- 2) 2回目、SENSE UNIT, T-UNIT, または SENTENCE で区切り、ポーズを入れて読まれたものを聞きながら書き取る。
- 3) 3回目、普通で読まれたものを聞きながら、2回目で書き取れなかったところを補ったり、修正したりする。
- 4) 書き取られた文を点検する。

そして、Sutherland(1967)は DICTATION を実施するにあたって教師が留意すべき点として、次の5つをあげている。

- 1) 特定の目標に向かっての計画された活動であること。
- 2) 本文にあらわれる言語材料について適切な事前指導が行われていること。
- 3) 学習者の個人差を考慮すること。
- 4) 結果は、学習者自信によって即座に評価されること。
- 5) 練習の段階付けに配慮すること。

この中で、特に TEACHING DEVICE としての DICTATION は目標とするものをはっきりさせなければならぬし、DICTATION 終了後、確実に FEEDBACK が行われるようにする必要がある。

3. 実験研究

1) 仮説

MTH FORMAT を用いた SPOT DICTATION を一定期間行うことによって、学習者の

- (1) LISTENING の能力を伸ばすことができる。
- (2) 同じ FORMAT を用いた文字 CLOZE の能力も伸ばすことができる。
- (3) READING の能力も伸ばすことができる。

2) 被験者

福井県立 鯖江高等学校 3年1組・2組(特進クラス)、4組・5組(普通クラス)

合計180名

3) 方法

- (1) 4月、SPOT DICTATION を行う前に PRE-TEST として、それぞれのクラスに差があるかどうかを調べた。(TABLE 1) t 検定の結果、READING TEST においても LISTENING TEST においても、特進クラスの1・2組の間にも、普通クラスの4・5組の間にも有意差は見られなかった。(TABLES 2 & 3) 従って、2つの特進クラスおよび2つの普通クラスはそれぞれほぼ等質なクラスと言える。また、特進クラスの下1組と普通クラスの上5組には、READING TEST で 0.1% 水準、LISTENING TEST で 2% 水準で有意差がある。(table 4) 従って、1・2組は学力上位群、4・5組は学力下位群と言える。

- (2) 5月、2組と4組に授業時間を利用して、7TH CLOZE FORMAT を用いた SPOT DICTATION (教材は「ヒアリングの段階演習 中級コース」)を計15回与えて訓練をした。1回の DICTATION に

要する時間は FEEDBACK も含めて約 20 分である。実施方法は上記 DICTATION の手順と同じであるが、2 回目の区切りは SENTENCE である。また、FEEDBACK として正解を与えた後、全文を再度聞かせて確認をさせた。その他は普通の授業で、1 組や 5 組と変わりはない。そして、英語の授業の進度は各クラス全く同じである。

(3) 6 月 結果を調べるため 6 種類 (1・2 組については 7 種類) のテストを行った。

SKIMMING = 福井県英語研究会研究部作成の SKIMMING の問題

GUESSING = 福井県英語研究会研究部作成の GUESSING の問題

SCANNING = 福井県英語研究会研究部作成の SCANNING の問題

CLOZE = 文字 CLOZE TEST (50 BLANKS)

SPOT DICTATION = 音声による CLOZE 式 7TH FORMAT を用いた DICTATION (25 BLANKS)

LISTENING = 福井県英語放送テスト D の問題

(模試 = 進研マーク式模擬試験の問題)

4) 分析方法 [Hatch(1982)より]

t 検定 (t - TEST) [2つの点数の有意差検定]

KR-21 (KUDER-RICHARDSON 21 FORMULA) [信頼度係数]

標準偏差 (STANDARD DEVIATION) [分布] 等

4. 結果および分析

TABLE 1

1 組	READING TEST	LISTENING TEST		2 組	READING TEST	LISTENING TEST
TOTAL	3141	2376		TOTAL	3227	2413
MEAN	69.8	52.8		MEAN	71.7	53.6
SD	11.8	12.3		SD	11.0	11.0
MAX	98	94		MAX	98	96
MIN	30	25		MIN	42	40
RANGE	68	69		RANGE	56	56
RT	0.86	0.84		RT	0.84	0.80
N	45	45		N	45	45

4 組	READING TEST	LISTENING TEST		5 組	READING TEST	LISTENING TEST
TOTAL	2627	2066		TOTAL	2710	2084
MEAN	58.4	45.9		MEAN	60.2	46.3
SD	11.6	9.6		SD	12.7	10.8
MAX	88	86		MAX	80	86
MIN	25	12		MIN	12	10
RANGE	63	74		RANGE	68	76
RT	0.83	0.74		RT	0.86	0.79
N	45	45		N	45	45

TABLE 2

1組と2組の t-TEST

READING TEST	P<0.5	LISTENING TEST	P<0.8
--------------	-------	----------------	-------

TABLE 3

4組と5組の t-TEST

READING TEST	P<0.5	LISTENING TEST	P<0.9
--------------	-------	----------------	-------

TABLE 4

1組(上位の下)と5組(下位の上)の t-TEST

READING TEST	***P<0.001	LISTENING TEST	**P<0.02
--------------	------------	----------------	----------

TABLE 5 (2組は SPOT DICTATION を行った)

1組	SKIM GUESS	SCAN CLOZE	DIC	HT合	問1	問2	問3	問4	模試		
TOTAL	2170	1895	4050	914	2820	3231	705	1275	735	610	3062
MEAN	49.3	42.1	90.0	22.2	64.1	73.4	15.7	28.3	16.3	13.6	68.0
SD	13.2	15.0	21.2	10.1	14.6	12.9	4.4	3.2	6.8	3.4	13.7
MAX	80	73	100	59	84	91					116
MIN	20	12	0	8	32	37					42
RANGE	60	61	100	51	52	54					74
RT	0.87	0.90	0.99	0.85	0.90	0.89					0.89
N	44	45	45	44	44	45					45

2組	SKIM GUESS	SCAN CLOZE	DIC	HT合	問1	問2	問3	問4	模試		
TOTAL	2440	1881	3900	1268	3597	3714	810	1300	890	714	3064
MEAN	55.5	43.7	88.6	28.2	81.8	82.5	18.0	28.8	19.8	15.9	68.1
SD	15.5	16.1	16.9	11.8	10.7	9.9	5.0	2.1	4.6	3.0	14.4
MAX	90	90	100	64	100	98					102
MIN	20	12	40	8	44	52					42
RANGE	80	71	60	56	56	46					60
RT	0.91	0.91	0.97	0.86	0.88	0.86					0.90
N	44	43	44	45	44	45					45

TABLE 6 (1組と2組の t-TEST)

SKIMMING	*P<0.05	HOSO TEST(合)	***P<0.001
GUESSING	P<0.7	┌ 問1	*P<0.03
SCANNING	P<0.8	問2	P<0.4
CLOZE TEST	*P<0.02	問3	**P<0.007
SPOT DICTATION	***P<0.001	└ 問4	**P<0.002
模試	P<1		

TABLE 7 (4組は SPOT DICTATION を行った)

4組	SKIM GUESS	SCAN CLOZE	DIC	HT合	問1	問2	問3	問4		
TOTAL	2140	1610	3650	880	2902	3247	690	1145	625	556
MEAN	49.8	35.8	84.9	19.6	69.1	73.8	16.4	27.3	14.9	13.2
SD	17.2	15.8	22.2	10.2	14.7	14.5	5.4	4.3	6.9	3.5
MAX	80	79	100	46	96	100				
MIN	10	9	10	2	24	31				

RANGE	70	70	90	44	72	69
RT	0.92	0.92	0.98	0.86	0.91	0.91
N	43	45	43	45	42	42

5組	SKIM	GUESS	SCAN	CLOZE	DIC	HT台	問1	問2	問3	問4
TOTAL	1720	1396	3720	589	2470	2899	695	1220	562	578
MEAN	40.0	33.2	84.5	14.6	57.4	65.9	15.3	27.4	13.1	11.4
SD	17.0	10.8	23.4	9.8	15.2	11.2	5.5	2.6	6.0	3.5
MAX	70	63	100	39	84	93				
MIN	0	10	0	2	24	45				
RANGE	70	53	100	37	60	43				
RT	0.93	0.82	0.99	0.89	0.90	0.84				
N	43	42	44	44	43	43				

TABLE 8 (4組と5組の t-TEST)

SKIMMING	*P<0.02	HUSO TEST(合)	**P<0.007
GUESSING	P<0.4	r 問1	P<0.4
SCANNING	P<1.0	問2	P<0.9
CLOZE TEST	*P<0.03	問3	P<0.2
SPOT DICTATION	***P<0.001	⊥ 問4	*P<0.02

5. 考察

6月、結果を調べるためにテストを行った。(TABLES 5 & 7) それぞれのテストの信頼度(RT)は 0.82-0.99 と高く、全て信頼性のあるテストであったと言える。そして、学力上位群の1・2組の点差を調べるため t 検定を行った結果、同じタイプの SPOT DICTATION と英語放送テスト(一般的な LISTENING TEST)では、0.1%水準で、文字 CLOZE では 2%水準で、SKIMMING では 5%水準で有意差があり、2組が勝っている。しかし、GUESSING、SCANNING、模試においては有意差は見られない。(TABLE 6) 学力下位群の4・5組の点差を調べるための t 検定を行った結果、やはり、同じタイプの SPOT DICTATION では 0.1%水準、英語放送テストでは 0.7%水準、文字 CLOZE では 3%水準、SKIMMINGでは 2%水準で各々有意差があり、4組が勝っている。しかし、ここでも GUESSING と SCANNING においては有意差は見られない。(TABLE 8)

それでは、仮説の検証である。SPOT DICTATION を一定期間行うことによって、「(1) LISTENINGの能力を伸ばすことができる。」というのは、学力上位クラスの2組においても学力下位クラスの4組においても強く支持された。「(2) 同じ FORMAT を用いた文字 CLOZE の能力も伸ばすことができる。」というのも両クラスにおいて支持された。「(3) READING の能力を伸ばすことができる。」というのは SKIMMING においては、両クラスとも支持されたが、GUESSING と SCANNING においては、両クラスにおいて支持されなかった。そして、模試においては、2組ではその能力を伸ばすには到らなかった。

LISTENING COMPREHENSION PRACTICE を一定期間行うことによって FAST READING の能力を伸ばすことができるという吉田(1986)、内藤(1987)の研究があるが、SPOT DICTATION の訓練は、文字言語であ

っても SKIMMING には転移したと考えることができ、同様の結果と言えよう。

6. おわりに

SPOT DICTATION を行うことによって、音声言語である LISTENING 一般の能力を伸長できることと文字言語であっても CLOZE の能力や SKIMMING の能力を伸長できるということも明らかになった。

今回の SPOT DICTATION は高校3年生という受験を目指す学習のなかで行われ、期間的に充分であったとは言えない。この訓練をもっと長期間行えば、さらに良い結果が得られたとも考えられる。これを基礎データとして、今後さらに DICTATION の研究を続けていきたい。

(福井県立 鯖江高等学校)

引用文献

- Allen, Edward David and Rebecca M. Valette 1972. *Modern Language Classroom Techniques: A Handbook*. pp.223-227. New York: Harcourt Brace Jovanovich, Inc.
- Cartledge, H. A. 1968. "A Defence of Dictation," *ELT*, 22, 3, May p.227.
- Davis, Paul and Mario Rinvolutcri 1988. *Dictation - New methods. new possibilities*, pp.4-8. Cambridge University Press
- Finocchiaro, Mary and M. Bonomo 1973. *The Foreign Language Learner: A Guide for Teachers*. p.134. New York: Regents Publishing Company, Inc.
- Hatch, Evelyn and Hossein Farhady 1982. *Research Design and Statistics for Applied Linguistics*. pp.108-127, pp.116-120, pp.243-248. Newbury House Publishers, Inc.
- Howatt, A. and J. Dakin 1974. *Language Laboratory Materials*, Allen, J.P.B. and S.P. Corder(eds.) p.105.
- 内藤 徹 1987. "A Study on the Correlation between Listening and Reading" 『中部地区英語教育学会・紀要17』 pp.7-12.
- 大里 忠・伊部 哲 1973. 『ヒアリングの段階演習 中級コース』 pp.12-30. 英潮社教材研究所
- Paulston, C.B. and M.N. Bruder 1976. *Teaching English as a Second Language: Techniques and Procedures*. p.135. Cambridge, Mass.: Winthrop Publishers, Inc.
- Rivers, Wilga M. and M.S. Temperley 1978. *A Practical Guide to the Teaching of English as a Second or Foreign Language*. p.269. London: Oxford University Press
- Sutherland, K.K. 1967. "Dictation in the Language Classroom," *TESOL Q.* 1.1. Mar. Reprinted in Croft, K. (ed.) 1972. p.224.
- 吉田一衛 1986. 「Listening Comprehension Practice による Fast Reading への影響 (2)」 『福岡教育大学紀要 第35号 第4分冊』 pp.207-219.